

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	災害に備えた地域の防災拠点づくり															
計画の期間	平成27年度 ～ 平成29年度 (3年間)				交付対象	南伊豆町										
計画の目標	静岡県第4次地震被害想定では、南伊豆町は最大で津波による死者約2700人、流出家屋1500戸等、海岸部を中心に甚大な被害が予想されている。また、避難者数については、地震発生から、1ヶ月を経過しても、約2400人が避難生活を強いられる見込みである。中でも、壊滅的な被害が予想されている入間・中木地区住民は、避難所までの距離が約8kmと遠く、道路網が寸断され自家用車を使うことができない状況では、避難所にたどり着くことが困難な状況にある。そこで本事業により、入間・中木地区から3km以内に位置する三坂地区に避難所機能を有した防災センターと防災資機材や備蓄食料を保管する倉庫を整備し、地域住民の生命を守り、安全・安心なまちづくりを実現する。															
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内全域において、静岡県第4次地震被害想定想定津波浸水域を有する地区における、半径3km以内の指定避難所カバー率を92%から100%にする。</li> <li>大規模災害の発生時において、迅速な物資供給体制を確保するため、食糧や生活必需品を供給できる避難場所の割合を50%から67%にする。</li> </ul>															
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値					備考					
						当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H28末)								
①	想定津波浸水域における半径3km以内の指定避難所カバー率 (想定津波浸水域を有する地区のうち、指定避難所までの距離が3km以内となる世帯数 1441世帯÷想定津波浸水域を有する地区の世帯数 1572世帯)					92.0%	-	100.0%								
②	迅速な物資供給体制が整っている避難所の割合 食料や生活必需品等が整備済の避難所数 3箇所 / 全避難所数 6箇所 = 迅速に食料や生活必需品を供給できる避難所の割合 50%					50.0%	-	66.7%								
③																
全体事業費	合計 (A+B+C)	137 百万円	A	124 百万円	B	0 百万円	C	13 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		9.5%					
○事後評価の実施体制、実施時期																
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期										
市内の組織により評価						平成 30 年 1 月										
						公表の方法										
						南伊豆町のホームページに掲載										
事後評価																
1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入) -:その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))																
交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31			
1-A1-1	防災	一般	南伊豆町	直接	南伊豆町	都市防災総合推進事業 (三坂地区)	三坂地区防災センター N=1棟	南伊豆町	■■■■■					107	○	
1-A1-2	防災	一般	南伊豆町	直接	南伊豆町	都市防災総合推進事業 (三坂地区)	備蓄倉庫 N=1棟	南伊豆町	■■■■■					17	○	
合計													124			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	進捗 状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31			
1-C-1	防災	一般	南伊豆町	直接	南伊豆町	防災拠点施設進入路改良工事	場内整備（アセス道路 L=30.0m、舗装工A=1,298㎡）	南伊豆町						13	○	
合計												13				
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-C-1	1-A-2都市膨大推進事業に位置づけられる事業と一体的に整備することにより、避難者の迅速な避難と備蓄資材、備蓄食料の円滑な運搬及び支援物資の円滑な受け入れが可能となる。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。  
 （参考） 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

**2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況**

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内全域において、静岡県第4次被害想定のご想定津波浸水域を有する地区における、半径3km以内の指定避難所カバー率(人口割合)を100%にすることが出来た。</li> <li>・備蓄倉庫を整備することにより、迅速に食料や生活必需品を供給できる避難所が3箇所から4箇所に増え、割合も66.7%となった。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標① 指定避難所カ バー率	最終目標値	100.0 %	目標値と実績 値に差が出た 要因	
		最終実績値	100.0 %		
	指標② 迅速な物資供 給体制が整っ ている避難所 の割合	最終目標値	66.7 %	目標値と実績 値に差が出た 要因	
		最終実績値	66.7 %		
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模な備蓄倉庫を整備することにより、災害時における物資の受援拠点を整備することができた。</li> <li>・避難所にマンホールトイレを整備することにより、災害時、停電・断水等でトイレが使用できない自宅避難者のトイレを確保することができた。</li> <li>・豪雨時の避難所として活用ができ、洪水が想定される青野川を越えて避難しなくても良いため、付近住民は安全に避難することが出来るようになった。</li> </ul>			
(必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					

(参考図面)

